

風疹の感染拡大防げ

党愛知県議団 県衛生研で状況を聞く
名古屋市

全国的に流行している風疹の調査活動として、公明党愛知県議団(渡会克明団長)は、名古屋市の愛知県衛生研究所を訪れ、同県における風疹の発生状況などについて聞いた。せきや会話などで飛び散った風疹ウイルスが原因で発症することのほ、名古屋市の愛病気は、妊娠初期の女性が感染すると胎児に先天性の障がいが起こる恐れがある。



風疹の発生状況を聞く党愛知県議団(右側5人)

このため同県では現在、妊娠を予定または希望している女性およびその夫を対象に、市町村が実施する風疹ワクチンの予防接種額の2分の1(1件当たり2500円を上限)を助成する事業を実施している。

同研究所では、これらのウイルスの発生原因の究明や予防、再発・拡大防止に向けた取り組みを行っている。

特に、風疹など感染症の発生動向について、調査結果を集計・解析し、県のホームページを通じて県民に注意を促している。

関係者から説明を受けた渡会団長らは、「県と市町村が連携をして、風疹の抑制に取り組みたい」と語った。